

教員免許取得に向けて

高等学校教諭一種免許状（情報）

※ 工学部学務係配布の「教員免許状取得の手引」を参照すること
知能情報コースWEBからPDFファイルを入手可能

教員養成に対する社会的状況

- 教員資質の向上
 - 実質的・体系的なカリキュラム
 - 実践力の養成
 - 人間性（教員になる強い意思）
- 教育実習
 - 実習前指導の徹底
 - 実習後の振り返り
- 教職科目の強化
 - 教職実践演習（高） 4年後期
 - 学校教育実践指導Ⅰ 3年後期
 - 学校教育実践指導Ⅱ 4年前期
 - 教育におけるICT活用 令和4年から新設必修化

免許取得に必要な最低単位数

- 教科及び教科の指導法に関する科目
（知能情報コース開設専門科目） 24単位
- 教育の基礎的理解に関する科目等
（教育学部開設科目） 25単位
- 大学が独自に設定する科目 12単位
- その他の要取得科目
 - 憲法概論 2単位
 - 健康運動系科目 2単位
 - 大学英語 4単位
 - 情報科学演習 2単位

単位修得の注意

- 履修モデル（手引）を参考にして履修計画
- 教職総合演習（情報）、情報科教育法A・B、教職実践演習（高）は知能情報コースで開設
- 教育学部開設の教職に関する科目はWeb登録申請
- 登録申請（抽選）の結果は履修登録確認表で確認
- 高等学校教育実習について
 - 4年次前学期に実習校で2週間実施
 - 仮登録は前年度11月 前年度早期に各自で実習校に承諾
 - 本登録は4年次前学期
 - 教育実習の登録条件 ⇒ 手引参照
 - 教育実習経費は本人負担

教職課程履修モデル（例）

	1年次	2年次	3年次	4年次
（大学独自科目含む） 教科	技術者の倫理 <u>プログラミングⅠ</u> <u>プログラミングⅡ</u> <u>プログラミングⅠ演習</u> <u>プログラミングⅡ演習</u>	<u>コンピュータシステム</u> <u>コンピュータアーキテクチャ</u> <u>アルゴリズムとデータ構造</u> <u>オペレーティングシステム</u> <u>データベースシステム</u> <u>情報ネットワークⅠ</u> <u>プロジェクトデザイン</u> <u>データサイエンス基礎</u> 情報科教育法A	<u>インターネットアーキテクチャ</u> 画像処理 ヒューマンコンピュータ <u>インタラクション</u> <u>キャリアデザイン</u> 情報科教育法B	教職総合演習（情報）
教職	教育原理 教職入門 教育におけるICT活用	教育心理学 教育課程 教育方法	教育社会学A 特別の支援を必要... 特別活動論 生徒指導論 学校カウンセリング 学校教育実践指導Ⅰ	学校教育実践指導Ⅱ 高等学校教育実習 教職実践演習（高）
その他	憲法概論 <u>大学英語</u>	運動・スポーツ科学演習 情報科学演習		

下線は学科必修科目

赤字は教職必修科目

その他

- 履修カルテと教職ポートフォリオ
 - 教職関係科目の履修状況と学習成果を記録・保存
 - Web入力とバインダーで資料保存（毎学期）
 - 生協にて琉球大学仕様のバインダーを購入
 - 4年次後期「教職実践演習（高）」で使用
 - リフレクションデー 1年・3年
- Mattermost、LINE
 - コース・専攻内の教職志望全学生を登録
 - 連絡や情報共有に利用
 - 毎年度初めに全学年懇談会
- 高大連携事業
 - 3年次でのプレ実習（12月）
 - 高校生インターンシップサポート（10月）